



パプアニューギニア独立国 (Independent State of Papua New Guinea)



- パプアニューギニアへの援助総額は2014年度迄に累計1,522億円。
- 独立前の1974年に経済協力を開始して以来、円借款、無償資金協力、技術協力を通じ、同国の開発に大きく寄与。
- 2014年に生産が開始されたLNGの開発に多くの日本企業が参画。

国概要

(基礎データ)

- 面積: 462,800平方キロメートル(日本の約1.25倍)
- 人口: 762万人(2015年)
- 首都: ポートモレスビー(首都圏人口約36万人)
- 民族: メラネシア系
- 言語: 英語(公用語)、ビジン英語、モソ語等
- 宗教: キリスト教。祖先崇拜等伝統的信仰も根強い。
- 政体: 立憲君主制
- 議会: 一院制(111議席)
- GDP: 169.3億ドル(2014年)
- GNI: 一人あたり 2,240ドル(2014年)
- 経済成長率: 8.5%(2014年)
- 失業率: 2.1%(2013年)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

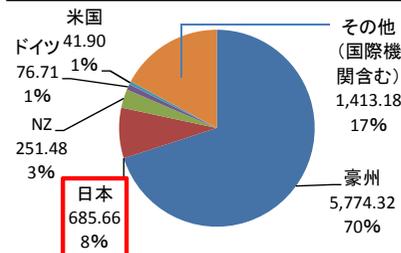
16世紀前半	ヨーロッパ人の来訪
1884年	独、ニューギニア北東部を保護領化
1884年	英、ニューギニア南東部を保護領化
1906年	英領ニューギニア、豪領となる
1914年	豪が独領ニューギニアを占領
1920年	国際連盟、独領ニューギニアの統治を豪に委任
1942-1945年	日本軍進駐
1946年	豪州を施政権者とする国連信託統治地域となる
1964年	住民議会設置
1973年	自治政府発足
1975年	独立

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	787.86億円 (2014年度までの累計)
無償資金協力	420.26億円 (2014年度までの累計)
技術協力	314.73億円 (2014年度までの累計)
青年海外協力隊	654人 (2016年7月までの延べ人数、 2016年5月時点で44人)
シニア海外ボランティア	88人 (2016年7月までの延べ人数、 2016年7月時点で6人)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

PNGへの主要ODA供与国 (1995年～2014年累積, 出典: OECD/DAC) (単位: 百万ドル)



経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からPNGへの輸出	208億円(2015年, 財務省貿易統計)
PNGから日本への輸出	3,285億円(2015年, 財務省貿易統計)
日本からPNGへの直接投資	1億円(2015年, 財務省貿易統計)
在PNG日系企業数	13社 (2015年10月時点, 外務省進出日系企業数調査統計)
日本企業現地法人の雇用数	20人(日本人) (2015年, 外務省)
年間新車販売台数	8,054台 (2015年, 外務省, 内86%は日本車)

人的つながり

項目	人数(直近年)
PNGにおける在留邦人数	170人 (2015年10月時点, 外務省海外在留邦人数調査統計)
在日PNG人数	43人 (2015年6月時点, 法務省在留外国人統計)
PNGから日本への留学生数	17名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)

日本とパプアニューギニア独立国との協力年表

年代	案件
1974年	パプアニューギニアに対する経済協力(無償資金協力, 研修員受入)を開始
1975年1月	ポートモレスビーに日本総領事館開設
1975年9月	独立と同時に外交関係を樹立
1975年12月	在パプアニューギニア日本大使館開設
1978年	初の円借款供与(ワバク上水道計画(0.9億円)及びゴロカ下水道施設建設計画(1.55億円))
1980年	青年海外協力隊派遣開始
1985年1月	中曽根総理, 安倍外務大臣がPNGを訪問
1985年7月	マイケル・ソマレ首相夫妻が公賓として訪日
1996年	有償資金協力: ポートモレスビー国際空港整備事業(フェーズ1: 84.54億円(1988年), フェーズ2: 43.09億円(1996年))
1997年	航空協定締結
1997年	第1回太平洋・島サミット(日・SPF首脳会議)を開催(以降3年毎に太平洋・島サミットを開催, 2010年から3年毎に中間閣僚会合を開催)
2005年	技術協力: テレビ番組による授業改善プロジェクト(通称EQUITV)
2009年	第5回太平洋・島サミットにて発表された「北海道アイランダーズ宣言」を踏まえ、「太平洋環境共同体(PEC)構想実現のためPEC基金(68億円規模)を設立
2009年	無償資金協力: ブーゲンビル海岸幹線橋梁整備計画(32.04億円)
2013年	有償資金協力: ラム系統送電網強化計画(83.40億円)
2013年	無償資金協力: マダシ市場改修計画(10.04億円) 道路補修機材整備計画(8.64億円)
2014年7月	日PNG外交関係樹立40周年に際し, 安倍総理がPNGを訪問, 「日・パプアニューギニア共同声明」を发出, 日PNG投資協定合同委員会開催
2015年	有償資金協力: ナザブ空港整備計画(269.42億円) 無償資金協力: 太平洋島嶼国における多様な災害の危険評価及び早期警戒システム強化計画(1.24億円)
2015年10月	技術協力協定締結

無償資金協力を通じて国立漁業訓練大学を建設。



1980年にパプアニューギニアに初めて青年海外協力隊を派遣。



遠隔教育プロジェクトの一連の活動は「EQUITVプログラム」として同国の教育政策に位置づけられ, 全国普及が進んでいる。



15橋を整備することにより, 地域の交通状況の改善に貢献。



同国の産業・物流の拠点であるレイ市の郊外にあるナザブ空港の改修・拡張を支援。